

「かがやき」再発見

～地域活性化の新しい形「文化芸術の可能性と人づくり」～



撮影：渡邊修
提供：金沢 21 世紀美術紀館

現代の日本は、人口減・超高齢化という大きな課題に直面する中、その解決のために官民一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴をいかして、活力にあふれた地方の創生を目指すことが急務となっている。石川県では、平成 27 年 3 月に北陸新幹線が開通したことにより、他地域や外国からの来県者が増え、これまでにないにぎわいをみせており、地元住民にとっても驚くほどの注目を集めている。在住者には気がつかない魅力を外の人によって教えられ、その魅力を題材に地域の活性化につなげることが、地方創生の鍵となっている。

本大会では、その中でも文化芸術を切り口に地域の活性化を行った「金沢 21 世紀美術館」の取組について講演を頂き、地域の「かがやき」の再発見の方法を学ぶとともに、各地域での国際交流活動や人材育成の取組についての情報交換をし合うことで、互いの「かがやき」を再発見し、既存の活動をさらに発展させるとともに新しいアイデアを見出す機会とすることをねらう。

【大会会場】

IT ビジネスプラザ武蔵
金沢市武蔵町 14 番 31 号

【基調講演】

「地域活性化の新しい形」 ～文化芸術の可能性と人づくり～

講師：金沢 21 世紀美術館 総務課長 中田 栄 氏

【大会日程】

11/28(土)

12:45～受付

13:15～開会式

13:30～基調講演

15:15～分科会

18:30～懇親会

11/29(日)

9:00～分科会

10:00～分科会の共有

10:30～帰国報告会

11:15～閉会式

【分科会】3つの切り口で金沢 21 世紀美術館を鑑賞し自分たちの活動にいかせるものをそれぞれ見つけます。

グループ1：地域活性化の切り札としての文化芸術

「人が集まる公共施設」である金沢 21 世紀美術館のマネジメントから、文化芸術を切り口とした地域活性化について考える

グループ2：若い世代の感性の磨き方

現代アートで若い世代の感性を育む美術館のプロジェクトについて学ぶ

グループ3：誰が世界を翻訳するのか

異文化間を「移動」「横断」していくことが常態化している現代社会においては、あらゆる関係が流動的であり、これまでに描かれた歴史や価値観も、誰がそれを伝えるのかによって、様々な意味を浮き彫りにする。同じ時代に別々の場所で別々の時間を生きる人々が、世界をどのように見ているのかについて考える。※観覧会見学費 1000 円(子ども 400 円)がかかります

【参加費】

全日程(宿泊) 12,000 円(ツイン) 13,000 円(シングル)、日帰(懇親会含) 3000 円
講演会・報告会のみ 500 円(IYEO 会員以外一般の方は無料)